

# 全国学校ギター合奏コンクール2016 審査講評

## 8. 伊勢崎市立第三中学校ギター・マンドリン部

課題曲 イタリアーナ<指揮/田村恵子>

自由曲 レナータ序曲/H. ラヴィトラノ(久保田孝編)<指揮/田村恵子>

審査員名	課題曲	自由曲
有馬	マンドリンとアルトギターではずい分華やかさが違うものですね。あれっ？と思うほど音色が違います。コントラバスだけが弓を使うというのも又面白いもの。意識させるほど今までの合奏と音色が違うだけ、個性的です。	よく歌っていると思います。私は独断と偏見かもしれませんがメロディの美しいものに魅かれます。(誰だってそうかも...)作曲家というのは哀しいもので技術とか創造力にこだわり過ぎてとても大切なものをおろそかにしがちなのです。それに目をさましてくださったような気がしました。
小胎	中間の音をもっと鳴らして 全体のバランスに注意 音色△	ギターをもう少し鳴らす 音のバランスに注意 音色○
小林	P < > PPの変化現してほしい。美しいトレモロは良かったが最終のフェルマータ	16分音符のアップの音がまったく聞こえないのでちがう曲になってしまった様な気がします。楽譜の音をしっかり表現してほしい。中間部のゆったり部分は大変よかった。アンサンブルとしてはバランスも良く最初をのぞくと大変良い演奏でした。
富田	クレッシェンドがたりない。この人数に弦バス二本いらぬ。またアルコ(弓)は編曲をよくアナリーゼしなければね。	セロ・ドウはないみたい。マンドリンの音量をもっと出せるはずですね。せつかくのソロをもっと聞かせないとね。指揮者は先に上手に→ 技術△ 音色△
竹内	内声に たとえばCコードで「♪♪」→ファミレミのようにsus4にあたる掛留音があれば、その解決へ向けて収まる感じが足りないなど、和声的な表現に若干の不満があったが、全体としては豊かだった。	マンドリンはトレモロにより音が延びる分、延びた音を自然減衰で切れないので、全ての音を「自己責任」で切ることを考えなくてはならない。そのため、和声的な解決感や「そっけなくならない」フレーズの切り方などへの配慮が大変であることが今日改めて感じられた。音楽の完成度を更に高め、更なる高みへと期待したい。
長尾	ギターパート弱い。PPを緻密にトレモロして深い音で弾いて欲しい。音に色をつけてオーケストラ的な広がりのある演奏を。	ダイナミクスはよい。ギターパートは深い音色が欲しい。Pになるとテンポがゆるむところあり。sf はよく呼吸をそろえて効果的に。エンディングの追い込み盛り上げ良い。

【問い合わせ先】

全国学校ギター合奏コンクール2015開催事務局(現代ギター社内)

Mail : jsgec@jsgec.net